

第75 回高体連オホーツク支部柔道選手権大会
兼 第41 回高体連オホーツク支部柔道女子選手権大会
兼 第75 回北海道高等学校柔道選手権大会オホーツク支部予選会

開 催 要 項

1. 主 催 北海道高等学校体育連盟オホーツク支部
2. 後 援 北海道教育庁オホーツク教育局
3. 主 管 北海道高等学校体育連盟オホーツク支部柔道専門部
4. 当 番 校 北海道高等学校体育連盟オホーツク支部柔道専門部
5. 期 日 令和7年5月22日(木)～23日(金)
6. 日 程

5月22日(木)	14時00分	会場設営(管内高校柔道部員)
	15時00分	公式練習(1時間30分)
	16時30分	計量①(男子・女子)
5月23日(金)	8時30分	開場
	9時00分	受付
	9時20分	審判講習会
	10時20分	審判会議
	10時50分	顧問会議
	11時15分	計量②(男子・女子)
	11時30分	監督・主将会議
	12時00分	開会式
	12時30分	団体戦(男・女)
		個人戦(男・女)開始
		閉会式・表彰式
	15時30分	会場撤去
7. 会 場 日本体育大学附属高等支援学校体育館 網走市大曲1丁目6番地1号
代表連絡先 北海道北見商業高等学校教諭 中澤 正(0157-56-3566)
8. 競技規則
 - (1) 国際柔道試合審判規定(2025-2028)による。
 - (2) 試合時間は3分とし、延長戦(ゴールデンスコア)は時間制限を設けない。
 - (3) 抑え込み時は「1本」20秒、「技有」10秒、「有効」5秒とする。
 - (4) 「優勢勝ち」の判定基準
 - ア 団体試合
 - ① 団体試合は「有効」または「僅差(指導差2)」以上とする。チームの内容が同等の場合は、その対戦に出場した選手の中から代表選手を任意に選出して代表戦を行う。
 - ② 代表戦の判定基準は、「有効」または「僅差(指導差2)」以上とし、両試合者に得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。
 - ③ 代表戦の延長戦(ゴールデンスコア)の判定基準は、「有効」以上または「指導」の差により勝敗を決する。
 - イ 個人試合
 - ① 個人試合は「有効」または「僅差(指導差2)」以上とする。技による評価が同等および指導差1以内の場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

② 延長戦（ゴールドスコア）の判定基準は、「有効」以上または「指導」の差により勝敗を決する。

- (5) 団体試合の代表戦及び個人試合において、両試合者が「指導」の累積による同時「反則負け」の場合は、スコアをリセットして延長戦（ゴールドスコア）により勝敗を決する。延長戦で「指導」の累積により同時に「反則負け」となった場合は、スコアをリセットして、再度 ゴールドスコア方式の延長戦を行い、必ず勝敗を決する。
- (6) 絞め技及び関節技においては、その効果が認められたときは、審判員の見込みによって「一本」の判定を下すことができる。

9. 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 高体連オホーツク支部に加盟している高等学校生徒であること。
- (3) 全日本柔道連盟の登録チーム及び登録生徒であること。
- (4) 平成18年4月2日以降に生まれた者。但し同一学年の出場は1回限りとする。
- (5) 転校後6ヶ月未満の参加は認めない。但し、一家転住などやむを得ない事情の場合は、支部長に届けて承認を得て、顧問会議に報告する。外国人留学生もこれに準ずる。
（支部大会参加の起算日は全道大会期日とする。）
- (6) 高体連主催大会参加者災害補償制度に加入している者、または加入意志のある者。
- (7) 統廃合の対象となる学校については、当該学校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (8) 参加する選手は、あらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を得ること。
- (9) 高等専門学校・専修学校及び各種学校にあっては、学齢・修業年限ともに高等学校と一致していること。
また、連携校の生徒による混成は認めない。大会開催に要する経費については応分の負担をすること。
- (10) 脳震盪対応として、選手およびその指導者は次の事項を遵守すること。
- ① 大会1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け出場の許可を得ること。
 - ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場ことは不可とする。（なお、至急、専門医（脳神経外科）の精査を受けること。）
 - ③ 練習再開に際しては、脳神経外科の診察を受け、許可を得ること。
 - ④ 当該選手の指導者は大会事務局および全柔連に対し、書面により事故報告書を提出すること。
- (11) 皮膚真菌症（トングランス感染症）については、発症の有無を各所属の責任において必ず確認すること。
感染が疑わしい、もしくは感染が判明した選手については、迅速に医療機関において、的確な治療を行うこと。もし選手に皮膚真菌症の感染が発覚した場合は、大会への出場ができない場合もある。

10. チーム編成

- (1) チーム編成においては、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (2) 団体試合
- | | |
|---|---|
| ア | 男子は監督1名、選手5名、補欠1名、マネージャー1名の合計8名をもって編成する。但し、選手は3名から5名でもよい。なお、3名もしくは4名の場合は、後ろ詰め（先鋒・次鋒、もしくは先鋒を空ける）とする。 |
| イ | 女子は監督1名、選手3名、補欠1名、マネージャー1名の合計6名をもって編成する。但し、選手は2名でもよい。なお、2名の場合は、後ろ詰め（先鋒を空ける）とする。 |
- (3) 個人試合
- | | |
|---|---|
| ア | 男子は60 kg級・66 kg級・73 kg級・81 kg級・90 kg級・100 kg級・100 kg超級の7階級とし、1校からの参加枠を設けない。 |
| イ | 女子は48 kg級・52 kg級・57 kg級・63 kg級・70 kg級・78 kg級・78 kg超級の7階級とし、1校からの参加枠を設けない。 |

- (4) 引率責任者は当該校の教員、監督は当該学校長の定めた教職員とする。ただし、監督については種目の特殊性を考慮し、申し出により別途協議する。また、公認柔道指導者資格取得者以外の教員は、『学校顧問特例資格審査申請書』を提出すること。

11. 組合せ方法

[男子]

- (1) 5月15日(木)北見商業高等学校会議室において専門委員、近隣高等学校柔道部顧問立ち会いのもとに抽選を行う。
- (2) 男子団体試合は、新人大会において決勝トーナメントに勝ち上がった学校をシードし、予選ブロックに振り分ける。シード校数が予選ブロック数に満たない場合は、各ブロック2校より抽選を行い、シードする。
- (3) 女子団体試合は、トーナメントまたはリーグ戦とする。
- (4) 男子個人試合は、1回戦で同一学校及び同全定選手が当たらないように配慮する。また、各階級の前年度新人大会の上位4名をシードする。
- (5) 女子個人試合は、階級ごとのトーナメントまたはリーグ戦とする。

12. 競技方法

(1) 団体試合

- ① 男子参加校を3ないし4校を1組として予選リーグを行い、各組1位チーム(但し、4校ブロックからは上位2チーム)によるトーナメント戦により上位3校を残し、決勝リーグを行って順位を決定する。
- ② 女子はトーナメントまたはリーグ戦とし、順位を決定する。
- ③ 勝敗の決定は勝率高点法とし、1試合ごとに勝負を決する。
- ④ 技の内容と指導の重みは(一本 = 反則勝ち > 技あり > 有効 > 僅差)の順とする。
- ⑤ 各チーム間の試合は点取り試合とし、勝敗の決定は次による。
 - I 勝ち数の多いチーム
 - II Iで同等の場合は「一本」による勝ちが多いチーム
 - III IIで同等の場合は「技あり」による勝ちが多いチーム
 - IV IIIで同等の場合は「有効」による勝ちが多いチーム
 - V IVで同等の場合は代表戦を行う。(8.競技規則(4)ア 参照)
- ⑥ 全ての試合において同点同内容の場合は代表戦を行う。代表戦においてポイントの差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)を時間無制限で行う。
※代表戦は、その対戦に出場した選手の中から任意で選出して行う。
- ⑦ 予選リーグにおいて、チームの勝率勝点が同一の場合は、試合内容(一本=、技あり、有効、僅差)を精査して勝敗を決定する。さらに同内容の場合は抽選を行い、勝敗を決定する。
※ 上記については、平成22年度新人大会顧問会議での確認事項を優先する。

(2) 個人試合

体重別トーナメント法およびリーグ戦により行い、計量をパスしない者は出場を認めない。

13. 参加申込み

- (1) 北見工業高校 HP よりダウンロードした参加申込書に必要事項を入力し、次のア、イの要領で送付する。
 - ア 作成した申し込みデータをメールに添付し、5月12日(月)締切で大会事務局へ送信する。
 - イ アで作成した参加申込書を印刷し学校長印押印後、大会当日持参し、受付にて提出する。
※締切日以降の申込みは原則として受け付けない。

(2) 申込先

〒099-0878

北海道北見市東相内町 602 番地

北海道北見工業高等学校

北海道高等学校体育連盟オホーツク支部柔道選手権大会事務局 櫻庭 孝義

TEL 0157-36-5524

FAX 0157-36-5525

MAIL t.sakuraba@hokkaido-c.ed.jp

(3) 参 加 料

参加料として、正・補欠選手 1 名につき 1,000 円を大会当日の受付時に納入してください。また、令和 7 年度調査研究報告冊子代として 1,000 円（男子・女子合わせて 1 校 1 冊分）と、全国高体連柔道負担金として、正・補欠選手 1 名につき 500 円を持参し、参加料納入時に併せてお支払いください。

14. 宿 泊

宿泊及び弁当については各学校でご手配ください。

15. 支部代表

- (1) 男子団体試合は、令和 7 年度については上位 1 校とする。
- (2) 男子個人試合は、-60kg・-66kg・-73kg・-81kg・-90kg については上位 6 名、-100kg・+100kg については上位 4 名とする。
- (3) 女子団体試合と女子個人試合の全道大会への出場は、フリー参加とする。

16. 連絡事項

(1) 参加者の変更について

申し込み後、参加申込書に変更が生じた場合は、当該校長の証明書及び診断書を添え、監督・主将会議までに大会事務局に申し出ること。

(2) 未登録者及び新 1 年生については支部大会当日までに登録手続きを取ることで参加を認める。

(3) 参加者は全員ゼッケンを付けること（男子は白地に黒、女子は白地に赤）。女子の試合者は上衣の下に、白色半袖丸首で無地の T シャツ又は、白色の半袖レオタードを着用すること。製造業者マークは、最大 20 cm のサイズであれば認められる。柔道着を着用した際に、製造者マークが見えてはならない。

(4) 男女個人試合で、参加者が少ない階級は専門部で検討し、2 階級以上を併せて実施する場合がある。

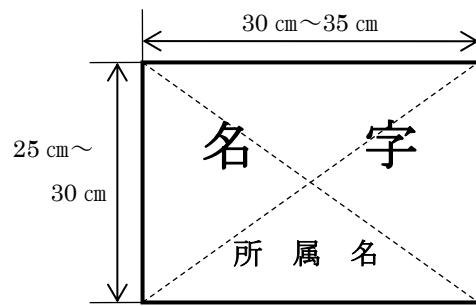
(5) 会場の使用についてはマナーを守り、破損したり汚したりしないよう各校で充分注意のこと。

(6) 会場の設営及び撤去作業については管内高校柔道部員で行う。

(7) 紅白の帯は各校で準備してください。

布 地	白色（ さらし 晒、 ふとしあや 太綾）
サ イ ズ	横 30 cm～35 cm × 縦 25 cm～30 cm
文字位置	名字（苗字）は上側 2/3、所属名（都道府県名）は下側 1/3 横書き
書 体	太いゴシック（楷書）、男子は黒色、女子は濃い赤色
縫い位置	後ろ襟から 10 cm、対角線にも強い糸で縫いつける

例図1 ゼッケンの文字位置・サイズ



例図2 ゼッケンの縫い位置

